

ホルムアルデヒド濃度低減効果測定



某医療センター 臨床検査科 病理検査室 切出し室のホルムアルデヒド濃度低減効果測定を行った。

実験機種 : SSC-10i (風量1m³/min)
SSC-20i(風量2.5m³/min)

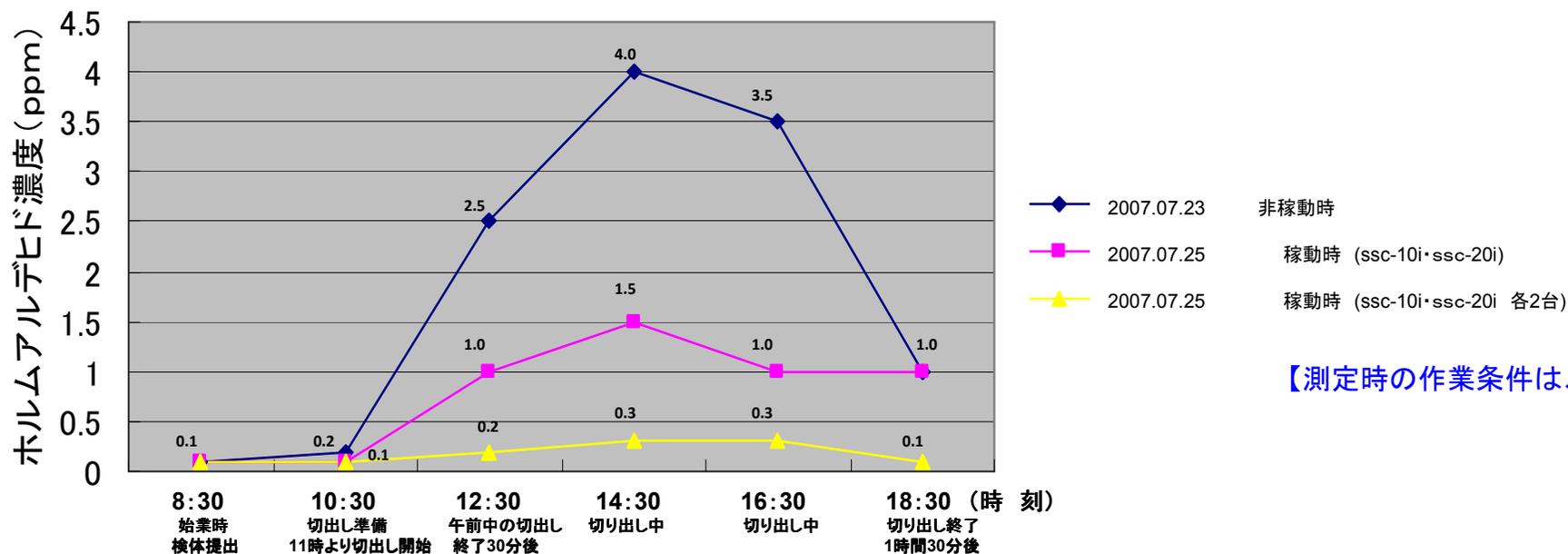
実装フィルター : 奥行120 × 幅295 × 厚み15mm
(SSC-10i 2枚、SSC-20i 5枚)

実験場所 : 4.6 × 6.0 × 2.5m=69m³ 病理検査室 切出し室

実験方法 : 検知管によりホルムアルデヒド濃度を測定 (天井換気装置は終日稼動)

実験目的 : ホルムアルデヒドを使用している現場でどれ位の効果が発揮できるか

【ホルムアルデヒド濃度低減グラフ】



【測定時の作業条件は、ほぼ同じ】